科目番号	59010	分類	専門科目 生活支援総合看護学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	看護技術工学 （ Nursing Technology and Engineering ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○浦中　桂一　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 看護の作業空間とその環境で扱う各種の機械装置や物は、人間の心理、生理、解剖など人間の諸特性を考慮に入れ創意工夫でデザイン・製作されている。看護と工学の融合に焦点をあて、看護の技術やプロセスを改善し、患者のケア向上に向けた工学的手法や技術を応用する具体的な内容・方法について探求的に学ぶ。 【目標】 1．看護における工学的手法や技術を理解し、探求する概念を明確にできる。 2．看護技術工学に関する今日的課題を説明できる。 3．看護現場における技術導入に関する具体的アプローチを習得する。	○	1．看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2．人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3．地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4．臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5．臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
	○	6．実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回 第２回 第３回 第４～１５回	看護技術と工学の基礎概念 看護と工学の統合の歴史 看護に係る医療機器・材料の原理と動作原理 看護に係る医療機器・材料の安全性とリスク管理 看護とロボット工学のアプリケーション 看護技術・教育におけるバーチャルリアリティとシミュレーション技術の活用 ①文献抄読 ・看護技術工学の倫理と法律の考慮事項 ・看護現場における技術工学導入の課題と解決策 ・看護技術工学の研究トピックスと発表 ②プレゼンテーション及びディスカッション ・上記の看護技術工学等に関する課題 ※授業は学生のプレゼンテーションを中心に展開する。 ※進捗状況によりスケジュールが変更されることがある。	浦中 他１名

事前・事後学習	事前学習：看護技術や工学関連する書籍や動画を活用して技術を理解しておく。 事後学習：他の学生が発表した文献・資料を熟読し内容の理解を深める。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	文献抄読・プレゼンテーションの参加状況（20%）及び内容（40%）、レポート（40%）により評価する。フィードバックは適宜行う。
参考図書 ・資料等	イラストで学ぶ看護人間工学　小川鑛一 著 ベッドサイドを科学する　看護に生かす物理学　平田雅子　著 手島恵(2021).これからの倫理と看護. 日本看護協会出版会.
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。